

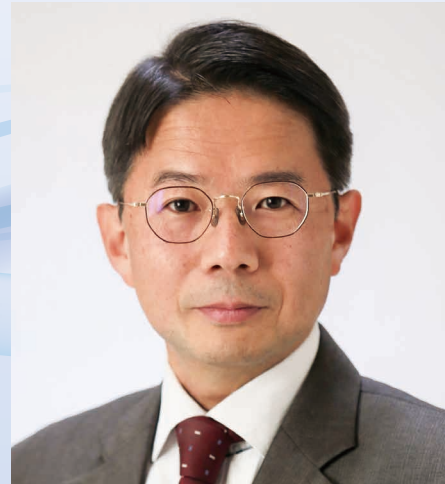
香芝市議会報告

～ vol.2 ～

野口まさふみ

発行日：2024.10 月発行

発行者：香芝市議会議員 野口まさふみ



野口まさふみ プロフィール 1968 年 7 月生まれ (56 才) 今年 5 月初当選

- 大阪府立生野高等学校 卒業
- 国立金沢大学工学部 卒業
- 中央大学法学部 在学中
- 商社勤務を経て個人会社を設立

- 元国会議員秘書
- 現在、会社役員、塾講師
- 香芝在住 30 年、家族は両親と妻
子ども 3 人はようやく独り立ち

ご報告①

選挙公約『議員報酬カット』を 自ら議員提案発議しました!!

【要点①】 5 月の選挙時の低投票率は国民・市民の政治への信頼低下の現れ

信頼を回復するために、自ら行動を起こすのが議員の責務

【要点②】 市財政規模に比べ削減額が小さい（財政面で効果が低いからしない）という論調は、物価高・税金と社会保険料の負担増に苦しむ国民感情の軽視では

最終的には採決日に残念ながら否決となりました。

**有言実行！
議員報酬削減
を議会発議！**

ご報告②

川田裕議長の不信任決議案が全会一致で可決

【何があったの??】

今年 7 月の議会で眞鍋議員から議長不信任決議の動議が提出された。議長による賛成者確認の際、4 名の賛成者がいたにもかかわらず川田議長は「賛成者なし」とし、動議を不成立とした。



【不信任の理由（要点）】

議会のルールでは、動議が出された場合、起立賛成者の確認をしなければならない。今回と同じく川田氏が議長だった過去の本会議においては起立賛成者の意思が分かりにくかった際、再度の確認が行われ動議が成立している。

なのに今回の議長不信任動議の際には丁寧な確認が行われなかった（異議を唱える声があったにもかかわらず）。

中立公正性に欠け、恣意的に偏った議会運営であると言わざるを得ない。

その後、議員辞職勧告も提出されました。全会一致の不信任決議は重いはず。市民の皆さまはどうお考えでしょうか。

《重要論点：国の新たな動き》全都道府県に1か所以上 自動運転技術の導入、ついに国が決定!!

今、地域公共交通の自動運転ってどうなっているの??

2023年度：62件の自動運転事業を採択、うち10か所以上で一般道での通年運行を実施予定。

今年度：一般道での通年運行を倍増させるために、国は『全ての各都道府県で1か所以上の運行』を目指す（2022年12月閣議決定に基づき）。

野口まさふみの考え

- ①運転手不足の解決策として香芝で自動運転バスの導入を迅速に検討すべき
- ②新しい自動運転技術に対する不安や心配が生まれるのは自然な事。利便性を実感いただく丁寧なプロセスが大切。新たな技術導入によりバスの便数増も模索できる。



野口まさふみは、行政の立場でなく、市民の立場と目線で議論しました

野口
視点

世の中の動向と香芝市の今

日本は後進国?! 動物の命への向き合い方と地域猫

- スイス……反ユダヤ主義的思想に立ち動物保護に関する憲法改正を実施（後に、ブラジル、スロベニア、スウェーデンも法制化）
- 2000年代以降……ドイツ、ロシア、イタリアを含め、憲法レベルで定める国が増加
- 直近……フランスではペットショップで犬猫の生体販売を禁止



動物保護・動物福祉は、ペットショップの販売形態の禁止だけでは成り立ちません。

ペットとして飼われたにもかかわらず飼い主の勝手な遺棄によって行き場を失った命。それでも懸命に生き延びるしかない不条理の中、命を守る活動があります。「捕獲し避妊・去勢して元の場所に」、さらに公衆衛生の視点で「地域で餌やり掃除の決まりをつくって管理し、自然の原理で数を減らす」一連の取り組みが『地域猫』活動。香芝でも地道に活動しておられる方々がいます。

香芝は『犬猫の理由なき殺処分ゼロ』を掲げる先進的なまち。ですが、奈良県は全国で上から数えて5番目に殺処分が多く、活動の広がりが急がれます。犬の殺処分は大幅減できた奈良県、皆様の力があれば猫の殺処分も必ず減らせます！